

1 キャリア教育の全体計画

<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学力と意欲のある生徒が入学している。 ○ 与えられた課題に対しては、真面目に取り組む。 ○ 自ら課題を見つけて取り組むことに課題がある。 ○ 真面目に取り組むことができているのに、自信が持てないことがある。 ○ 90%以上の生徒が部活動へ加入している。 ○ 生徒の進路状況は四年制大学進学が40%、短期大学進学が10%、専修学校等進学が20%、就職者が約20%である。 	<p>学校教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒一人一人の確かな学力と将来を見据えた進路意識を養う。 (確かな学力と進路意識の育成) (2) 生徒が主体的に規範意識と人権意識を高める環境づくりを図る。 (人間力の育成) (3) 学科の特色ある教育活動と地域社会との協働を通して、社会人基礎力の育成に努める。 (社会人基礎力の育成) 	<p>保護者・地域の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人間力の育成 「礼儀正しい実力派」 生徒の自主・自立を大切にし、心身ともに健康な人物の育成 ○ 高い志の育成 学力の向上と進路指導、中学校・保護者から信頼される学校 ○ 学科の特色ある教育活動や社会貢献活動を通じた規範意識の醸成 前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力を育成 ○ 社会貢献活動やボランティアなど社会に根ざした活動の推進 ○ 地域・地元企業との連携による活性化
<p>キャリア教育の重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域社会のリーダーとなる人材の育成 ○ 常識ある将来のスペシャリストの育成 ○ 互いを認め合うコミュニケーション力のある社会人の育成 		

キャリア教育で育成すべき能力や態度（基礎的・汎用的能力）			
<p>人間形成・社会形成能力 (かかわる力)</p>	<p>自己理解・自己管理能力 (みつめる力)</p>	<p>課題対応能力 (やりぬく力)</p>	<p>キャリアプランニング能力 (かなえる力)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーション・スキル ○ チームワーク ○ リーダーシップ ○ 他者を理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の役割の理解 ○ 前向きに考える力 ○ 自己の動機付けや忍耐力 ○ 主体的な行動力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報の収集・選択・処理 ○ 課題発見・計画立案 ○ 実行力 ○ 評価・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学ぶこと・働くことの目的や意義・役割の理解 ○ 多様性の理解 ○ 将来設計

各教科・科目におけるキャリア教育

【国語】
言語活動をとおり、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。

【地理歴史】
国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。

【公民】
広い視野に立って、現代の社会についての理解を深めさせ、主体的に考察させるとともに、自らの在り方生き方についての自覚を育てる。

【数学】
数学的活動を通して、創造性の基礎を培うとともに、事象を数学的に考察し表現する能力を高める。

【理科】
自然に対する関心や探究心を高め、観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。

【保健体育】
心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

【芸術】
芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

【外国語】
外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力や態度を養う。

【家庭】
家族・家庭・社会の意義やかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

【情報】
情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

【家庭（専門）】
家庭の生活にかかわる産業に関する知識と技術の習得や社会的な意義・役割を理解させるとともに、生活産業を取り巻く諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

【商業（専門）】
商業の各分野に関する知識と技術の習得、ビジネスの意義や役割を理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

各学科が専門を通して育てたい生徒

<p>商業科</p>	<p>簿記会計やマーケティングを核として学び、高度資格を取得して、数字に強い会計のプロフェッショナルや地域ビジネスのリーダーを育成する。</p>
<p>国際経済科</p>	<p>ビジネスシーンで通用する「使える・話せる」英語の学習やコンピュータを学び、国際社会に強いビジネスリーダーを育成する。</p>
<p>情報処理科</p>	<p>コンピュータやネットワークを使いこなす知識と技術を身に付け、国家資格であるITパスポート試験、基本情報技術者試験などの高度な資格取得に挑戦しITリーダーを育成する。</p>
<p>生活創造科</p>	<p>衣・食・住・保育・福祉を学び、家庭の生活にかかわる産業に関する幅広い知識と技術を身につけ、家庭科技術検定（食物・被服・保育）などの高度な資格取得に挑戦し、地域産業のニューリーダーを育成する。</p>
<p>服飾デザイン科</p>	<p>被服製作、ファッションデザイン、服飾の歴史などを学習し、ハイレベルなファッションセンスと技術を身につけ、服づくりのセンスや技術を磨き、地域産業のニューリーダーを育成する。</p>

総合的な学習の時間におけるキャリア教育

- 進路研究に取り組んで職業観や人生観を深め、将来の夢を具体的に作る。
- 自分の適性や能力・興味関心を見極め、自分の将来の可能性を伸ばす。
- 分野別講座や講演会、課題図書などで問題意識を高め、視野を広げる。
- グループ討議やディベートなどで、情報活用能力、コミュニケーション能力を磨く。
- ディベートや小論文講座などで、論理的思考力や様々な表現力を鍛える。
- グループ単位の活動を通して、課題解決に向けてメンバーの意見をまとめる。
- 様々な活動を通して、今後の課題や高校生活の目標などを明確にする。

特別活動におけるキャリア教育

【LHR 活動】
人権講演会 修学旅行準備(2学年)
主権者教育(3学年)
外部講師・卒業生による進路講演会
飛翔祭準備

【学校行事】
宿泊研修(1学年)1泊2日
誠友会総会 芸術鑑賞
インターンシップ(2学年)
修学旅行(2学年)3泊4日
卒業制作展

【生徒会活動】
対面式(新入生歓迎)
球技大会
飛翔祭(文化の部・体育の部)

各学年の重点目標

1 学年	2 学年	3 学年
<ol style="list-style-type: none"> ①さわやかな挨拶ができる。 ②一歩踏み出す力をつける。 ③自己実現に向けて努力する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①専門性を身につけることへの感謝の心を育てる。 ②主体的に進路を見据えてすべての活動に取り組ませる。 ③教科学力による多様で確かな力を身につけさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①自分を語るために具体的に行動できる。 ②進路実現のための実力をつける。 ③挨拶ができる。

進路指導

- ・キャリア教育を推進し、個に応じた高い進路実現を目指す。
- ・進路に関する行事・学習を通して、社会人基礎力の育成を図る。

生徒指導

- ・校内外で、南高生としての自覚を持ち、規範意識を高く持って行動できる生徒を育成する。
- ・学校行事・部活動を充実させ、学校生活を輝かせることができる生徒を育成する。

学習指導

- ・意欲的な学びを支援する魅力ある授業を創造する。(学習の質の向上)
- ・校内および家庭での学習習慣が身につく指導を工夫する。(学習習慣の充実)

部活動におけるキャリア教育

各部活動の活動方針に従い、生徒の能力・適性、興味・関心等「個」に応じた活動を通じて知・徳・体の調和のとれた人間の育成を図るとともに、運動や文化活動を通して、集団の中での良好な人間関係構築のために協力や協調し、コミュニケーション能力を身に付ける。

2 キャリア教育における企業と連携した取組の紹介

(1) 本校の特色

本校は、明治 35 年岡山市立岡山商業学校として創立され、以来、幾多の変遷を経て昭和 24 年に「商業学科」と「家庭学科」の二つの大学科を併せ持つ「岡山県立岡山南高等学校」として設置された。その後、アパレル産業の後継者育成のために昭和 45 年に「服飾デザイン科」が設置され、多くの人材を県内外のアパレル関連企業に輩出している。現在、商業科、国際経済科、情報処理科、生活創造科、服飾デザイン科の 5 学科 1,070 名が在籍し、本年度創立 114 年を迎える伝統校である。

(2) 取組の目的

服飾デザイン科で専門科目を学ぶ生徒が、将来、関連産業界で活躍できるスペシャリストとなるための社会人基礎力を、地元企業と連携した研究・実践を通して身に付けることができるよう産学連携実学体験プロジェクト（「Minami Practical Science」以下、MPS という。）に取り組んでいる。



MPS は、生徒が企画・立案から商品化に至る実践的な企業活動に参画することで、産業界に通用する職業観・勤労観・課題解決能力を育成し、キャリア教育を推進することを目的としている。

(3) 取組の概要

平成 26 年 7 月に、岡山県の繊維産業及び制服製造の代表的企業である菅公学生服株式会社と協定を結び、本校服飾デザイン科 2 年生が、企業が行っている活動を体験することで、自身のキャリアアップや産業の活性化に繋げようとするものである。昨年度は「磐梨体操服イノベーションプラン」と銘打ち、赤磐市立磐梨中学校から依頼された新体操服（平成 28 年度入学生着用）の商品企画に取り組んだ。本年度は「岡輝中学校女子制服リファインプラン」として、本校の所在する学区の岡山市立岡輝中学校から依頼された女子制服（平成 29 年度入学生着用）のマイナーチェンジに取り組むことをプロジェクトの柱とした。

以下、本年度の取組を紹介する。

(4) MPS 2016 の実践

日程	取組内容	詳細
H28. 4. 15	講義「制服の性能・オリジナル性」	講師：菅公学生服(株) 営業支援本部学校提案部学校提案課課長 開発本部スクール企画開発部部长
H28. 5. 9	岡山市立岡輝中学校訪問 「制服ニーズ調査」	会場：岡山市立岡輝中学校 生徒会メンバーと懇談
H28. 5. 30	商品企画会議① 素材・機能・デザイン学習会	会場：菅公学生服(株)本社ショールーム
H28. 5. 31	講義「コンセプト立案・企画書作成について学ぶ」	講師：菅公学生服(株) 開発本部スクール企画開発部部长 開発本部学生工学研究所職員(本校卒業生)
H28. 6. 6	講義「企画書の展開・グループ別 企画書検討」	講師：菅公学生服(株) 開発本部スクール企画開発部部长 開発本部学生工学研究所職員(本校卒業生)
H28. 7. 13 ～14	商品企画会議② 企画書・デザイン画 確認会	会場：岡山南高等学校 企画書・デザイン画の確認会
H28. 7. 27	8 つの企画書・デザイン画完成	岡山市立岡輝中学校へ提出
H28. 8. 1	岡山市立岡輝中学校制服検討委員 会での検討会	会場：岡山市立岡輝中学校 8 企画から 3 企画の選定会議
H28. 8 上旬	制服企画デザインコンペ	服飾デザイン科 1 年・3 年へ向けた 8 企画のプレゼンテーション実施
H28. 8. 8	8 企画から 3 企画へ選定完了	岡山市立岡輝中学校より結果連絡
H28. 8. 17 ～18	南高校オープンスクール 「企画投票」	本校オープンスクールにて発表並びに 参加中学生投票（442 名）
H28. 8. 19	工場見学 商品企画会議③	会場：菅公学生服(株)倉敷工場 3 企画をコンセプトモデル作品に仕上げるための企画会議
H28. 9. 15	商品企画会議④ ファーストモデル	会場：岡山南高等学校 3 企画のサンプル作品のチェック

H28. 10. 1	MP S 2016「岡輝中学校女子制服リファインプラン」中間発表会・ファーストモデル検討会	会場：岡山南高等学校 3企画をファッションショー形式でプレゼンテーション実施
H28. 10 中旬	新・岡輝中学校女子制服デザイン決定	
H28. 10. 21	商品企画会議⑤ セカンドモデル検討会	会場：岡山南高等学校 決定したグループのデザイン修正
H28. 11. 15	菅公学生服展示会（大阪）	展示会場への展示ならびに参加
H28. 11. 20	岡山県立美術館見学及び岡山県立大学ワークショップ参加	会場：岡山県立美術館
H28. 11. 21	「岡輝中学校女子制服リファインプラン」プレス発表会	会場：カンコーショップ 報道機関へ 新・岡輝中学女子制服の発表
H28. 11. 28	商品企画会議⑥ 夏服の企画検討	会場：岡山南高等学校
H29. 1. 19	商品企画会議⑦ 夏服の企画検討	会場：岡山南高等学校
H29. 3月	MP S 2016 最終報告会	会場：岡山南高等学校 岡輝中学校女子制服（冬服・夏服）発表

<岡輝中学校女子制服の商品企画>

菅公学生服(株)の開発担当の方に、「企業における商品企画の進め方」を学んだ後、岡輝中学校代表生徒の皆さんに制服の現状についてのインタビューを行った。ユーザー視点に立ったニーズの把握をもとに、8グループのコンセプトの方向性を固めた。ショールームでは実際の商品に触れ、ニーズに合わせた素材の選択を行うための工学的分析についても、学ばせていただいた。仕上がった8グループのデザイン企画は中学校側の制服検討委員会で3つのデザインに絞られ、その3作品のサンプルを菅公学生服(株)に製作していただいた。ファーストモデルからセカンドモデルへ、サンプルを仕上げる工程は、「デザイナー側」の高校生が「縫製側」の企業へ依頼する「商品へのこだわり」のぶつかり合いでもあり、企業現場で実際に行われていることと同一の体験となった。また、デザインとコストのバランスを合わせる修正は、今回の企画の中での一番難しい学習経験となった。10月の中間発表会では、3グループのメンバーが企画のプレゼンテーションを行い、合わせて生徒自身がモデルとなり完成したサンプル制服を披露した。各グループは、3カ月の期間をかけて企画を練り上げたばかり、ユーザー視点で熱くコンセプトを語って作品を発表した。最終的に新女子制服に決定した企画は「SIMPLE×ACTIVE」というコンセプトで、活動性とデザイン性を兼ね備えた作品であり、中学校側にも大変好評であった。



(5) 取組の成果と今後の課題

前年度、先輩が実践した「赤磐市立磐梨中学校体操服」の企画に刺激を受け、4月当初より新2年生は、積極的にプロジェクトに取り組み、先輩のプロジェクトを引き継ぐ意欲を見せてくれたことは、3年目の積み重ねの成果であると考えます。前年度の体操服の企画に比べ、今年度の制服は「マイナーチェンジ」という制限の中で、オリジナルの発想の幅は広げにくい面はあった。中学校側にアピールするポイントを練り上げ、自分たちのグループならではのコンセプトを固めて商品企画を行った取組は、まさに企業現場と同一の実践活動となった。顧客側に評価してもらえなければ、自分たちのグループの企画は採用されないという競争原理の体験は、自分の好むデザインの作品を製作する通常の学習活動では体験困難であり、職業観を高め、生徒のキャリア意識の高揚に繋がった。また、チームで企画・開発活動に取り組むことでコミュニケーションスキル・プレゼンテーション力を養い、「社会人基礎力」を身に付けることにもつながった。



今後もさらに地元産業界との連携をはじめ、服飾デザイン科の教育活動を通じて、将来を見据える広い視野を持ち、課題解決能力や関連産業界から求められる力を身に付けた人材育成に努めていきたい。